

広告データ

入稿ガイドライン

2017年11月版

P1 データ入稿概要

P1 Illustrator 制作の注意事項 I

P2 Illustrator 制作の注意事項 II

P3 Photoshop 制作の注意事項

P4 データ入稿確認表

P5 広告サイズ表

P6 総インキ量をチェックする方法

広告データ入稿について

制作アプリケーション ● レイアウトアプリケーション……Adobe Illustrator 9～CS5まで

※Illustrator以外で作成されたデータは受け付けません。

CS6以上のお客様はCS5にバージョンを落として入稿ください。

Illustratorバージョン8以下は不具合があるため入稿出来ません。

● 画像アプリケーション……Adobe Photoshop

入稿データの形態

- Illustrator EPS で保存する。必ずCMYKかグレースケールで作成する。RGBは不可
- 原稿ファイル名は頭に掲載日の数字4桁をいれ、0123○○○○.epsとして保存すること。

例 .1月23日

ファイル名は、半角英数字で15文字以内で、半角アンダーバー「_」以外の記号は使用不可

※拡張子は必ず付ける。

※必ずウイルスチェックを行うこと。

※データ入稿確認表を添付する。

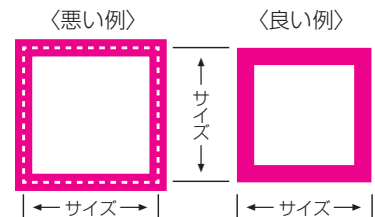
※念校グラを添付する。

※イラストレータの配置画像は全て埋め込む。

Adobe Illustrator 制作の注意事項 I

囲み罫

囲み罫の基準線から外側に出た部分は、原稿サイズよりも大きくなります。例えば線幅 1mm の枠罫を巻いた場合であれば、基準値から内側に 0.5mm 外側に 0.5mm になります。このため罫線を内側に設定するか罫線をアウトライン化して調節して下さい。



罫線の太さ

線幅のポイント数は 0.2pt 以上です。(これ以下だと印刷で再現できない場合があります)

余白を必要とする広告

弊社システムの前稿データ出力設定は、上下左右それぞれ一番外側にあるオブジェクトを基準としています。このため、余白を必要とする広告の場合は規定サイズのアタリ枠(塗りなし、線なし)を作成する必要があります。



※アタリ枠(塗りなし、線なし)を作成しないと拡大されてしまう。

不要なオブジェクトの削除

トンボや注釈、日付など不要なオブジェクトは削除してください。

仕上りサイズの外に孤立点を含めた不要なオブジェクト、文字やアンカーポイントが残っていると、当社でのデータ処理時にそれらも原稿の一部として含んでしまい、出力イメージが異なる原因になります。

色指定

カラー広告の色指定は CMYK、モノクロ広告の場合はグレースケールモードを使用して下さい。RGB での指定は不可です。

CMYK で指定する場合、色指定の **総インキ量が 250% を超えないようにしてください。**

新聞印刷の場合、総インキ量が 250% を超えるあたりからトラッピング不良が起き、指定された色を正確に再現できなくなることがあります。 ※転写及び裏写りの防止も含めて必ず守ってください。

◎多く見られるエラー原因は Windows アプリからのテキストや部品のコピー＆ペーストで RGB 素材のまま制作してしまっている事です。例えばスミ文字 BK100%のはずが実際には C 67.8% M 54.7% Y 45.6% K 94.5% など 4 色になっています。 ※ Illustrator CS4 からはウィンドウ → 分版プレビューで簡単に確認できます。

Adobe Illustrator 制作の注意事項 II

オーバープリント

オーバープリントは破棄して保存してください。

また通常の印刷物データを流用するなどして新聞広告を作成する場合は十分な注意が必要です。誤ってオーバープリントの属性が残ったままの文字やオブジェクトに白抜きを適用しても白抜きは反映されずバックの色が出てしまいます。

白抜き文字

正常な白抜き文字



オーバープリントの属性が残ったままの文字で白抜き文字が反映されていない。

フォント

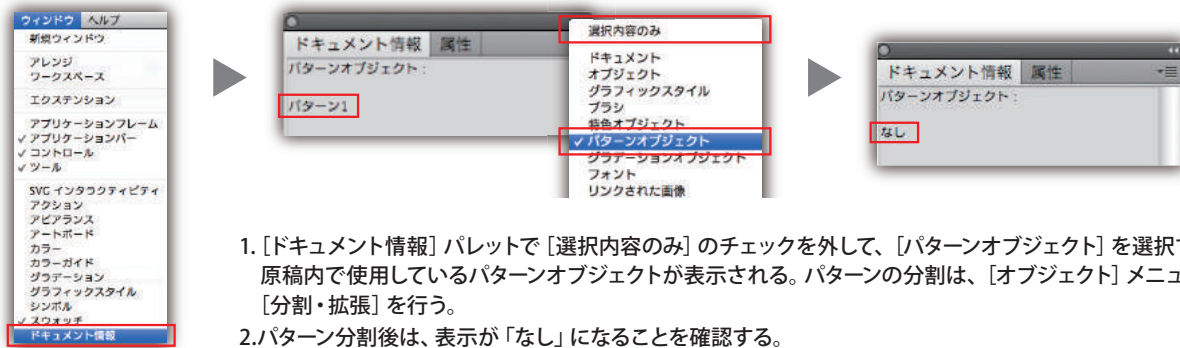
フォントは全てアウトライン化して下さい。フォントサイズは最小5ポイント迄です。

配置画像

配置画像は Photoshop EPS 形式で、すべて必ず埋め込んでください。

パターンの分割

Illustrator書類上でパターンを使用している場合は、分割・拡張を行う。パターンオブジェクトの有無は [ドキュメント情報] パネルで確認する。

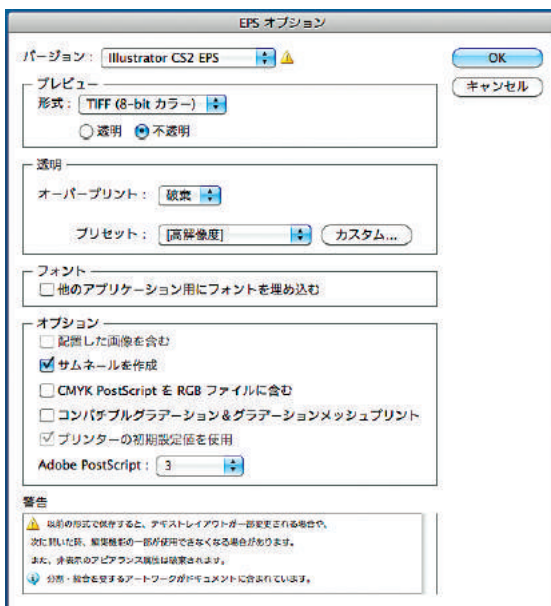


1. [ドキュメント情報] パレットで [選択内容のみ] のチェックを外して、[パターンオブジェクト] を選択すると、原稿内で使用しているパターンオブジェクトが表示される。パターンの分割は、[オブジェクト] メニューの [分割・拡張] を行う。
2. パターン分割後は、表示が「なし」になることを確認する。

サイズ

原稿サイズは長崎新聞社の規定のサイズで制作して下さい。データサイズの外にオブジェクトがあるケースが多々あります。(ドロップ&シャドウ・孤立点など) 最終データは、全てを選択して原稿サイズでクリッピングマスク処理をして下さい。

EPS保存オプション



〈互換性／バージョン〉

基本的に制作時に使用したIllustratorのバージョンで保存して下さい。
※CS6以上はCS5にバージョンを落として保存して下さい。

〈プレビュー〉

Ver9は「8bit IBM PC」、
Ver10～CS5は「TIFF (8bitカラー)」を選択し、不透明にチェックする。

〈透明〉

オーバープリントを破棄にし、プリセットは高解像度にする。

〈オプション〉

サムネールを作成にチェックする。

※グレー表示でチェックができない場合はこのままで構いません。

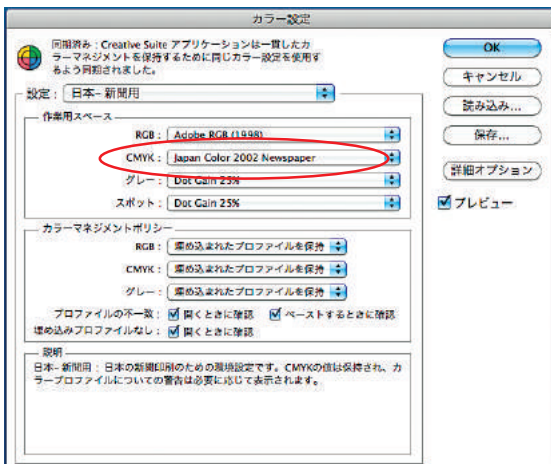
Adobe Photoshop 制作の注意事項

イメージモード／解像度

カラー画像は CMYK → 使用サイズで 200dpi～300dpi ※RGB は厳禁です。

モノクロ画像はグレースケール → 使用サイズで 200dpi～300dpi モノクロ2階調 → 使用サイズで 1200dpi

カラー画像のICCプロファイル設定



カラー画像は必ず CMYK モードを使用し、インキの総使用量 (CMYK 各インキが最も多く重なっている部分の合計値) が 250% を超えないようにして下さい。新聞印刷の場合、総インキ量が 250% を超えるあたりからトラッピング不良 (インキの転移が悪くなる) を起こしやすくなり意図した色が再現できなくなることがあります。

上記の UCR の問題を解決するために Photoshop の編集 → カラー設定 CMYK のプロファイルを JapanColor 2002 Newspaper (新聞用) に設定して作業すると、ほとんどの場合で総インキ量を 250% 以内に納めることが出来ます。

CMYK 画像を新聞用 CMYK 画像に変更する手順

- ① CMYK プロファイルを JapanColor 2002 Newspaper に設定する
- ② CMYK 画像を RGB 画像に変換する
- ③ CMYK 画像に戻す

EPS保存オプション



〈プレビュー〉

TIFF (8bit/pixel) を選択する。

〈エンコーディング〉

エンコーディングは「バイナリ」を選択のこと。

ただし CS からは「ASCII85」を選択すること。

JPEG圧縮の場合は 高画質か最高画質 (低圧縮率) を指定ください。

ハーフトーンスクリーンを含める トランスファ関数を含める

ポストスクリプトカラーマネジメント 画像補間方式

の4項目はチェックをしない。

※最終ページに総インキ量を入稿前にチェックする方法を記載しています。

これは Illustrator EPS データの (オブジェクトも画像も一括して)

総インキ量が 250% 以内に収まっているかどうか確認できます。

データ入稿確認表

長崎新聞社営業局データ入稿確認表

▼必ず念校ゲラに添付してください。

◆代理店名			
◆広告名			
◆掲載日	年	月	日 (曜日) 付
◆広告サイズ	段	天地	mm × 左右 mm
◆色数	<input type="checkbox"/> モノクロ	<input type="checkbox"/> CMYK カラー	<input type="checkbox"/> スポット ()
●ファイル名	掲載日の4桁の数字→○○○○ _____ .eps		
●イラストレーターのバージョン	Adobe Illustrator <input type="checkbox"/> 9.0 <input type="checkbox"/> 10 <input type="checkbox"/> CS <input type="checkbox"/> CS2 <input type="checkbox"/> CS3 <input type="checkbox"/> CS4 <input type="checkbox"/> CS5		
●チェック項目	<input type="checkbox"/> フォルダー／ファイル名は規定の名前になっている <input type="checkbox"/> 原稿サイズを確認 <input type="checkbox"/> 原稿サイズでクリッピングマスクを作成 <input type="checkbox"/> 孤立点、不要オブジェクトはすべて削除 <input type="checkbox"/> Illustrator、Photoshop は EPS 形式で保存 <input type="checkbox"/> グレースケールまたはCMYKを使用 (RGB、特色厳禁) <input type="checkbox"/> 総インキ量は250%以内に収まっている <input type="checkbox"/> 画像解像度は適正になっている		
●画像はすべて埋め込んでいる	<input type="checkbox"/> フォントはすべてアウトライン化		
●オーバープリントは破棄している	<input type="checkbox"/> 入稿メディアに不要データは入っていない		
●ウィルスチェック			
◎広告編成	◇データ入稿	月	日 時
	◇審査	月	日 時

— 備考 —

長崎新聞社広告サイズ表

●ブランケット版広告

段数	天地サイズ
1 段	32mm
2 段	65mm
3 段	99mm
4 段	133mm
5 段	167mm
6 段	202mm
7 段	236mm
8 段	271mm
9 段	305mm
10 段	339mm
11 段	373mm
12 段	408mm
13 段	442mm
14 段	476mm
15 段	510mm

分割数	左右サイズ
全幅	378mm
2 割	187mm
3 割	124mm
4 割	93mm

全15段広告(新聞ケイなし)

タテ 513mm×ヨコ 382mm

2連版広告(新聞ケイなし)

タテ 513mm×ヨコ 784mm

●雑報広告 (タテ×ヨコ)

題字下	65mm×33mm
記事中 7cm×2段	65mm×70mm
記事中 7cm×1段	32mm×70mm
記事中 3.5cm×1段	32mm×35mm
突き出し	65mm×52.5mm
記事挟み	32mm×10mm

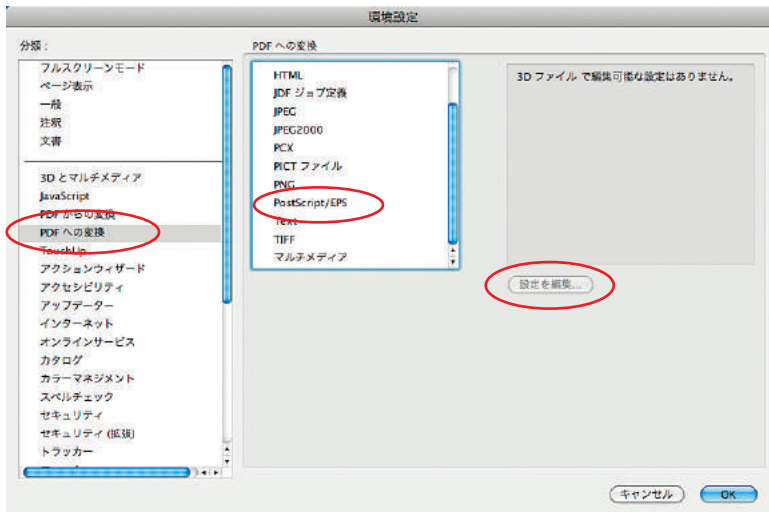
●タブロイド版広告 (タテ×ヨコ)

全12段(全広)	376mm×239mm
12段 2割	376mm×119mm
12段 3割	376mm×79mm
全4段	123mm×239mm
全3段	92mm×239mm
3段 3割	92mm×79mm
フロント 全3段	92mm×239mm
終面 全4段	123mm×239mm
雑報3段 2割	92mm×79mm

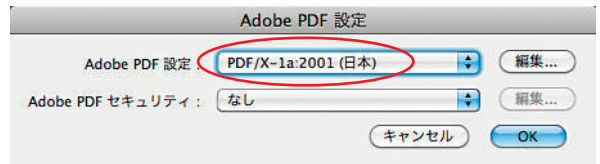
Adobe Acrobat Professional を使用して イラストレータ EPS データの総インキ使用量をチェックする方法

① セットアップ

Acrobat Professional の環境設定 → PDF への変換 → PostScript/EPS → 設定を編集 ... → Adobe PDF 設定



PDF/X-1a:2001(日本) に設定する



② チェック方法

EPS データを Acrobat Professional にドラッグして開く → 出力プレビューを開く (※バージョンによって場所が異なる)

※ Acrobat 9 Professional の場合 メニュー/アドバンスト → 印刷工程 → 出力プレビュー

表示/すべて → プレビュー/色分解を選択 → サンプルサイズ/5ピクセル四方の平均を選択 → 領域全体をカバーにチェックし
数値を 250%にする

インキ量が 250% 以上の場所が指定の色で強調表示されます

※領域全体をカバーでカーソル位置でも
インキ総量%を確認できます。

